

## 教育分野 政策 2 「いきいきとした生涯学習社会の実現」

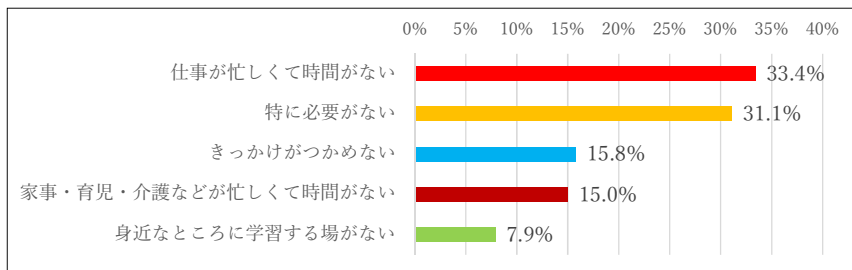
## 目指す姿

充実した生涯学習機会の下、生涯学習により得た成果を、自己を高めることや地域や社会での活動に活かすことができている。

## 【現状と課題】

- 趣味や教養など生きがいとしての学習ニーズが高まる一方で、多くの社会人が仕事や家事、育児、介護などによって、生涯学習の時間を確保することが難しくなっています。
- 公民館などの生涯学習関連施設において様々な講座を実施していますが、講座参加者の固定化や年代の偏りが生じています。一方、生涯学習関連施設の老朽化も進んでいます。
- 生涯学習の機会として、公的機関や民間が行う教室での講座に加え、ICTの進展を背景にインターネットを活用した多様な学習コンテンツが提供されています。
- 核家族化の進行や地域におけるつながりの希薄化などにより、身近に相談できる相手が少なくなっており、子どもの健全な成長を支えている家庭や地域の教育力の低下が懸念されています。
- 青少年センターや野外活動センターなどの施設において、触れ合いや体験を通じて子どもの個性や能力を伸ばすための交流や活動を支援していますが、社会環境が変化している中で子どもの生活や意識も変化しており、子どもの抱えている問題が複雑化・多様化しています。

※関連データ：生涯学習をしない理由 上位5項目



(資料) 生涯学習に関する世論調査 (内閣府)

## 【目指す姿を実現するための方向性】

人 地 域	<b>ア 地域の教育力の向上と子どもの健全育成</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育てについて学び、保護者同士が交流できる場や機会を提供することで、子育てに対する悩みや不安を解消し家庭や地域の教育力の向上を図ります。</li> <li>○ 学校、家庭、地域が連携し、子どもの見守り活動や問題行動の未然防止に取り組むとともに、青少年センターや野外活動センターなどの施設の効果的な活用により子ども同士の交流や自主活動を支援することで、子どもの健全な育成に取り組みます。</li> </ul>
活 力	<b>イ 生涯学習の機会の充実</b>
土 台	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な媒体を活用して生涯学習の情報を発信するとともに、市内の大学、美術館や姫路文学館等の博物館施設、公民館や図書館等の生涯学習施設において、市民のライフスタイルやニーズに応じた多様な学習機会を提供するなど、生涯学習の充実を図ります。</li> </ul>
	<b>ウ 生涯学習関連施設の整備</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 博物館施設や生涯学習施設の老朽化した建物・設備等を計画的に改修し、ライフサイクルコストの低減や長寿命化を進めます。</li> </ul>

## 市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| 市<br>民                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 生涯学習を通じて学んだ成果を社会に活かしましょう。</li> <li>➤ 学校や地域と連携して子どもの健全育成に取り組みましょう。</li> </ul>              |
| 地<br>域<br>コ<br>ミュ<br>ニ<br>ティ | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域の人が参加しやすい講座にするために、公民館の企画運営等に関わりましょう。</li> <li>➤ 青少年の見守り活動や非行防止活動などに取り組みましょう。</li> </ul> |
| 企<br>業<br>・<br>団<br>体        | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 社会人になっても学び直しができる職場環境を整えましょう。</li> <li>➤ 子どもの健全育成と非行防止に協力しましょう。</li> </ul>                 |